



被爆80年特別コンサートの開催について

日時 2025年8月6日(水)

①昼の部 14:00～ ②夜の部 18:00～(開場 17:30)

会場 ひろしま美術館 本館ホール

演奏者 ①昼の部

安塚 かのん(被爆ヴァイオリン)、三浦 万帆(ヴァイオリン)
ダニエル・ケニグスバーグ(フルート)

②夜の部

安塚 かのん(被爆ヴァイオリン)、三浦 万帆(ヴァイオリン)

料金 ①昼の部 当日有効の入館券が必要です

②夜の部 一般 1,000円、大学生 700円、高校生以下無料

※コンサートのご鑑賞は無料ですが、上記の入館料が必要です。

※17:00以降は特別展会場を閉鎖いたしますので、②夜の部については「junaida展」はご鑑賞いただけません。当日 16:30 までにご入館された方でコンサートご鑑賞希望の方は受付にお申し出ください。入館券に再入場できるスタンプを押印いたします。但し、閉館時(17:00)に一旦ご退館いただき、開場 17:30 に再入館いただきます。

定員 ①昼の部、②夜の部いずれも各 200名(先着順)

※座席には限りがございます。立ち見となる場合もございますので、ご了承ください。

また、事前の席取りはご遠慮ください。

※状況に応じて、②夜の部は閉館後に受付で整理券をお配りする場合がございます。

※なお、収容人員を上回る場合は入場をお断りすることがございます。予めご了承ください。



♪ プログラム ♪

イマジン	ジョンレノン
愛のあいさつ	エドワード・エルガー
鳥のうた	カタルーニャ民謡
この素晴らしき世界	ルイ・アームストロング
パッサカリア	ハルヴォルセン
2つのカプリス op18-4	ヴィエニャフスキ
威風堂々	エドワード・エルガー
嘆きのセレナータ	エンリコ・トセリ

※当日演奏曲順不同

<14:00 の部のみフルートの追加演奏>

カノン	パッヘルベル
シンクス	ドビュッシー
木霊 第3番	吉田 進
もののけ姫	久石 譲
光と希望の中で	ダニエル・ケニグスバーク

被爆ヴァイオリンとは…



ヴァイオリンの持ち主セルゲイ・パルチコフさんはロシアの貴族の家に生まれ、幼いころからヴァイオリンを習っていました。1917年のロシア革命で祖国を追われ日本に亡命します。

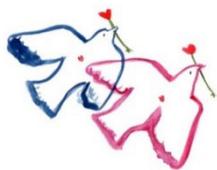
広島に居を構えたパルチコフさんは、無声映画を上映する映画館でヴァイオリンを演奏して生計を立てていましたが、評判を聞いた女学校の校長に誘われ、生徒たちに音楽を教えることとなります。

しかし戦時下、ロシア人のパルチコフさんへの弾圧が厳しくなり、家も軍部に接収され引っ越しを余儀なくされ、女学校を辞めざるを得なくなりました。

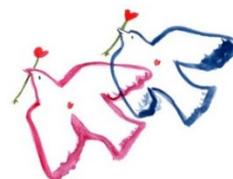
そして1945年8月6日、爆心地からおよそ2.5キロの距離にあった自宅でパルチコフさん一家も被爆します。パルチコフさんは潰れた家に何度も入り、祖国そのものであり、異国での生活を助けてくれたものであり、一緒に原爆を生き抜いた特別な絆を感じたヴァイオリンを見つけ出し手放しませんでした。

その後パルチコフさん一家はアメリカに渡りましたが、被爆から40年後パルチコフさんの長女が女学校100周年記念式典に出席し、女学校をルーツに持つ広島女学院大学にヴァイオリンを寄贈しました。





演奏者プロフィール



安塚 かのん

トリオグループ認定メセナ活動生。桐朋女子高等学校を経て桐朋学園大学1年に在学中。The North International Music Competition 2023 第1位。第77回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第22回万里の長城杯国際音楽コンクール 弦楽器の部 中学生部門第1位受賞。第1回グランディール音楽コンクール全国大会第2位。第22回大阪国際音楽コンクール Section III:ユース部門第2位受賞。カーネギーホールにて開催 Special Venue Music Award 「Rising Star Media Award」受賞。ドイツライプツィヒ音楽大学・スイス国立チューリッヒ芸術大学・ルーマニアジョルジエネスク芸術大学・オーストリアウィーン国立音楽大学マスタークラス修了。広島県教育委員会より「メープル賞」、廿日市市より「はつかいちさくら賞」受賞。NHK 広島放送局×広島交響楽団～夢プロジェクト～ ソリスト出演。「The MOST in JAPAN 2021」広島公演 ソリスト出演。第11回 あきおた国際音楽祭 with Bechstein オープニングパフォーマンス演奏。国内外で多数受賞・演奏歴あり。これまでにヴァイオリンを村上直子氏、中村英昭氏、豊田弓乃氏、福田廉之介氏に師事。作曲を森山智宏氏に師事。

三浦 万帆

5歳よりヴァイオリンを始める。2018、2019、2023、2024年大植英次氏プロデュース 威風堂タクラシック in Hiroshima の広島心音オーケストラに参加、及び2019、2022、2024年ソリストオーディション合格。第28・31回日本クラシック音楽コンクール全国大会において入選。第3回桐朋ジュニアコンクール in 広島において広島桐朋賞。第13回ベートン音楽コンクール全国大会においてベスト10ヴァイオリンを村上直子氏、篠崎功子氏、室内楽をこれまでに池田菊衛氏、木野雅之氏、佐藤彦大氏、田中晶子氏、銅銀久弥氏、清水醍輝氏に師事。現在、桐朋学園大学4年在学中。



ダニエル・ケニグスバーグ

フランス在住のフルート奏者・作曲家・即興演奏家・指揮者。彼の音楽世界はクラシック、ジャズ、民族音楽、現代音楽といった幅広いジャンルにまたがり、Cフルート、アルトフルート、バスフルートのほか、世界各地の伝統的なフルートも演奏する。フランス国家資格を取得し、長年にわたりアルジャントゥイユ音楽・舞踊・演劇院で教鞭を執り、その後同校の統括を務めた。現在はパリ20区のコンセルヴァトワール「ジョルジュ・ビゼー音楽院」で学習課程ディレクターとして教育と研究に携わっている。ソロやアンサンブルでのコンサートに加え、美術や舞台芸術とのコラボレーションも多く手がける。代表的な活動として、アルジェのオペラ座での舞踊公演『Noun』、2024年日本の「せこへい美術館」での平和とアートのイベント、2025年宮島で開催された巖島とモン・サン・ミッシェルをテーマにした写真展での演奏が挙げられる。また、映像作品や舞台芸術のための作曲にも力を注いでおり、多文化的な背景を生かした即興性と豊かな表現力を融合させ、音楽を通じて「本物の感動」を届けることを目指している。

